



# 岡山市連合町内会会報

題字：兼松久和

発行人：兼松 久和 〒700-8544 岡山市大供1丁目1-1 TEL：086-803-1031 FAX：086-803-1744 編集委員長：片山 晋

## 第26回全国都市緑化おかやまフェア

おかやま花だより2009 ～未来へ～

岡山市連合町内会 常任理事 岡 恒夫



メイン会場内の花の川



第26回 全国都市緑化おかやまフェア  
おかやま花だより  
2009 未来へ

### 政令指定都市岡山の誕生

平成二十一年四月一日、岡山市は全国で十八番目の政令指定都市に移行する。旭川の辺りに城下町の礎が築かれて四百有余年。この地が七十万の人口を擁する都市に成長するのは、岡山の開祖宇喜多直家公も想像できなかっただろう。政令市移行が、脈々と長い年月をかけてこのまちを築きあげてきた先人の努力の一つの「成果」であることは確かである。

しかしながら、政令指定都市に移行すること、四月一日から我々の日常生活が急激に変化するということではない。政令指定都市に移行するメリットを問う人は多いが、性急にその答えを求めるべきではないだろう。岡山市は平成十三年以降の人口要件の緩和により生まれた政令市であり、それ以前の政令市とは都市規模が違ふ。従って、これからの政令指定都市岡山の都市経営が、東京二十三区や先行政令市の模倣や追従であってはならない。むしろ他の政令市とは一味もふた味も違ふ、岡山らしさを生かしたまちづくりが望まれる。

政令市移行に伴う四つの区の誕生は、これまでの枠組みとは違う新たな地域の枠組みを生む。合併や区制は地域のあり方に見直しを強いるものであり、区の一体感が醸成されるまでには時間がかかるかもしれない。しかし、それは新たな「人と人とのつながり」を構築する契機でもある。いざれにしても我々は新しい時代に対応できるように、残すべきものと変えていくべきものを取捨選択しなければならぬ。「未来に誇れる政令指定都市岡山」実現のため、地域を最もよく知る包括的住民自治組織である町内会が担うべき役割は大きい。

#### 期間

三月二十日(金)～五月二十四日(日)

※開場時間：九時三十分～十七時  
※最終入場時間は十六時三十分

#### 場所

メイン会場：岡山市西大寺地区  
サブ会場：岡山城・後楽園  
協賛会場：岡山市西川緑道公園・岡山市半田山植物園

全国都市緑化フェアは、国土交通省(当時の建設省)の提唱により昭和五十八年から全国持ち回りで開催されている花と緑の祭典です。

今回は、政令指定都市誕生の年に「花・緑・ひと・咲いて魅せます夢おかやま」晴れの国からの贈りもの「」をテーマに岡山市において盛大に開催されます。

みなさんお揃いで会場へお出かけください。(JR西大寺駅や臨時駐車場から無料シャトルバスが運行されます。)

#### ◎メイン会場を彩る花緑

フェアの主役は「花と緑」です。みなさんに、くつろいでいただくため、多様なデザインで、花のある生活を楽しんでいただくため、ポーター花壇・花木や果樹・寄せ植え花壇・フラット花壇など、メイン会場は約六〇種類、約五〇万本の植物が植えられ、色とりどりの花や樹木を見ることが出来ます。

#### ◎花と緑のテーマ館

著名人によるトークショーやコンサート、家族向けのキャラクターショーなど幅広い年齢の方々が楽しめる催しが行われます。

#### ●入場料金

当日	三五〇円	十八歳～六十四歳
全期間	一〇〇〇円	〃
団体	二八〇円	有料入場者三〇名以上

★サブ会場・協賛会場(岡山市半田山植物園)は通常料金

#### ◎入場無料

- ・十七歳以下(高校生を含む)
- ・六十五歳以上
- ・障害者手帳等保持者とその介護者一名
- ・学校行事の引率者 など

#### ◎庭園などの出展

また、岡山県出身の作家・重森三玲特別展や「青いバラ」の展示などが予定されています。

#### ◎岡山城・後楽園

岡山城天守閣に至る中段や後楽園正面を花で飾ります。後楽園を活かしながら、創造性豊かな花と緑に満ちた岡山らしさあふれる展開が図られます。

## 2009 鳥取・因幡の祭典

オープニングイベント

### 世界砂像フェスティバル

開催期間：2009年4月18日(土)～5月31日(日)  
開催場所：鳥取砂丘オアシス広場

業種	区分	前売券 H21.1.1～4.17	
		当日券	当日券
普通入場券	大人	1,000円	1,300円
	小中学生	500円	600円
特別割引入場券	大人	600円	
	小中学生	300円	

身体障害者手帳・療育手帳等をお持ちの方は、特別割引入場券をお求めいただけます。

←祭典HP・携帯からカンタン申込み!



2009年度に無料の高速道路「鳥取自動車道」の鳥取側開通に併せ、4月から1年を通して四季折々の因幡地域のイベントや特有の文化、風土を紹介し、多くの人に因幡の魅力、楽しさを味わっていただくとういうのが2009鳥取・因幡の祭典です。

# 岡山市連合町内会視察報告 政令指定都市岡山の未来 地域・議会・行政…三者一体の協働

岡山市連合町内会 副会長 片山 晋

平成二十年十一月に岡山市連合町内会会員等四十七名は、政令市先進都市静岡市・浜松市の自治会を訪問し、政令市移行前後の地域の様子等についての説明を受けた後、懇談を通して研修すると共に両自治会との交流を深めた。

＊静岡市自治会連合会訪問…  
静岡市自治会連合会役員六名  
事務局四名 計十名

組織としては、静岡市自治会連合会のもとに葵区自治会連合会・駿河区自治会連合会・清水区自治会連合会がある。葵区と駿河区にはそれぞれ区内に小学校単位の連合自治会が五十八組織あり、清水区には公民館単位で二十組織がある。

政令市移行と同時にそれぞれの区に、区民懇話会が設置され、まちづくり・産業・経済・防犯などの観点から広く市民の声を聴いている。懇話会委員は区長の委嘱であるが、公募もしている。

＊浜松市自治会連合会訪問…  
浜松市自治会連合会役員六名  
事務局一名 計七名



(上) 浜松市自治会連合会での研修  
(下) ガイドさん直伝の折り紙富士山



旧浜松市自治会連合会は区割りにともない五つの区自治会連合会に改編された。その他に浜北区と天竜区ができ、新浜松市自治会連合会は、七つの区自治会連合会で組織された。その七区の自治会連合会の下には、五十の地区自治会連合会、七三一の単位自治会がある。五十地区の単位は、中学校区をはじめ様々である。

生活への直接的な変化は聞かれなかったが、岡山市民としては、目前のことばかりでなく『五十年・百年後に先人の知恵が生きて今日の岡山市がある』と孫子にいわしめるようにすることが、現在に生きる私たちの責任であるとの思いを強くした。そのためには、一五九七件にも及ぶ県から市への権限移譲を受け岡山市のトップリーダーである市長のもと、市民重視・環境重視の視点に立ち地域（市民）・議会・行政が三者一体となった協働と資質向上が期待され、このことが個性ある岡山市を生み『水と緑が魅せる心豊かな庭園都市岡山』を創ると考えた。

地域住民の声を行政に反映させるため、議員を含まない三年任期二十人の委員による区協議会があり、自治会からも委員が出ている。市の周辺部から中心部まで車で二時間半もかかる地域があるが、ヘリコプター（十一億円）の導入が計画されることにより時間と距離を短縮し住民に安全安心感を与えている。既に導入され活動している岡山市の消防・防災ヘリも同様な役割をこなしていると思われる。

自治組織としては両市とも組織母体にそれぞれ伝統があり、各自自治組織のまとまりは極めて強固であり、新しい区づくりへの気迫が感じられた。両市と岡山市では住民自治組織への支援（別表参照）に大きな差があり今後の課題と考えられる。

## 【別表】

	政令市指定	面積 (km <sup>2</sup> )	人口 平成20.6月末	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )	区数	町内会加入率	予算 町内会・自治会	会報発行
静岡市	17年	1388.78	711,080	512	3	町内会・自治会 85%	14,968,790円 自治会連合会	年1回 全戸配布
浜松市	19年	1511.17	823,628	545	7	自治会 96.2%	40,655,000円 自治会連合会	なし
岡山市	21年	789.91	696,446	882	4	町内会 88.1%	12,606,150円 連合町内会	年2回 各組へ配布

## 平成20年度岡山市町内会長等懇談会

平成二十一年二月二十二日、岡山衛生会館三木記念ホールにおいて岡山市町内会長等懇談会が開催されました。

町内会をはじめ、全国自治会連合会の谷口陽三副会長、岡山県自治会連合会、備前市自治会連合協議会、姫路市連合自治会、鳥取市自治会連合会等から、ご多忙中にもかかわらず約四百名の皆さまにご出席いただきました。また、今回初めて(社)岡山県婦人協議会、岡山市連合婦人会、岡山市愛育委員協議会からもご参加いただきました。ご出席いただきました皆さまには、心よりお礼申し上げます。

本懇談会は、岡山市連合町内会の活動状況を市内町内会



平成20年度岡山市町内会長等懇談会

長等に広く知っていただくとともに、各町内会相互の理解と連携を深めたいという思いから開催しているものです。

懇談会では、はじめに兼松久和会長から「地域住民の多様なニーズに的確に対応できるような資質の向上を図っていくことがあり、続いて岡山市連合町内会の岡恒夫常任理事から活動紹介、男女共同参画専門部会の大和田黎子部会長、岡山市安全・安心ネットワーク連絡協議会の秋山卓一会長からそれぞれ活動紹介が行われた後、防府市教育委員会の鈴木隆子委員長からご講演をいただきました。

金子みすゞの詩や生き方を通して、真の地域づくりやこれからの自治会・町内会に必要な「低いところからの目線」について、熱心にわかりやすくお話をいただき、認識を新たにしました。

また、参加者からも金子みすゞの人と詩の魅力に触れながら、地域づくりの参考となる貴重なお話を聞くことができた。有意義な懇談会であったとの声をいただき、成功裏に本懇談会を終えることができました。

### 鈴木隆子氏の講演を拝聴して

城東台学区連合町内会 会長 吉田 勝則

岡山市連合町内会活動紹介に引き続き行われた講演、「金子みすゞの心を観る」(自治会、今)(講師鈴木隆子氏)を拝聴した。

「金子みすゞ」の詩集を講演の内容として、歯切れよく軽快かつ情感を込め、時にはユーモアを交えた語りかけに、メモを執るのを忘れて聞き入ってしまった。

「金子みすゞ」の詩には見えるものを、現状どおり見してしまう(判断してしまう)のではなく、目線を変えれば、人の悲しみ・人の痛み等、他人では見えないものが観えてくる。その様子があらゆる詩に



鈴木隆子氏による講演

うたわれている。わずか二十歳で薄幸の生涯であった「金子みすゞ」の心には見えないものが観える素晴らしい才能があったと思われる。

鈴木氏は、地域づくりとは、「すべての人々がここに生まれ、ここに育ち、ここに住んで、本当に良かったと思えるか」と問うておられた。

更には、地域で出来ることは地域で、出来ないことは行政で、共にまちづくりを行う。そのために、まず向う三軒両隣の繋がりを広げることが肝心であると。

四月より政令指定都市となるが、それにふさわしい地域づくり・都市づくりのため、今まで以上に取り組んで行きたい。

～生きがいの探求・生きがいの創造～

### 地域に根づいた医療と福祉

メディカルフィットネスで生活習慣病の予防と改善を!!

平成21年2月 OPEN **あしもり健康増進センター**

あしもり内科クリニック 足守荘  
新あしもり内科クリニック 足守荘

介護老人保健施設 高松アクティブホーム

特別養護老人ホーム 足守荘  
ケアハウス あしもり

～ お問い合わせ先 グループ本部 ～  
岡山市下足守1900-1 086-295-9557

入 院 ・ 住 診 ・ デイケア  
デイサービス・ショートステイ  
訪問看護・訪問リハビリ・医療福祉連携室

障害を越えようセラピードック  
講談社より 「名座ジャスティン」発刊中

なるほど子育て! 赤ちゃんのかわり方 Kids21 子育て研究所

http://www.okayama-ikiiki-shiwase.net

### 社会福祉法人 幸輝会

〒703-8203 岡山市国府市場985-1

特別養護老人ホーム 幸輝園 TEL(086)275-0220

高島デイサービスセンター TEL(086)275-0307

幸輝園ヘルパーステーション TEL(086)275-0170

明るく楽しい地域づくりをめざして

牧石学区連合町内会 会長 廣田 省吾



牧石小学校で開催した敬老会

秋の活動では学区全体で取り組んでいる『敬老会』があります。八十才以上の方を対象としております。対象者を調べるのに若干時間がかかりますが民生委員会の協力を得て、婦人会、愛育委員会の皆様が各町内に出向き調査いたしました。二十年度の牧石学区での対象者数は約七〇〇名でした。これには驚きました。交通が不便な地域です。多数の参加者を考えてタクシ一等で送迎をするようにしています。それでも参加者は一〇〇名程度です。会場は牧石小学校の体育館です。パイプ椅子に座ってもらうのが、申し訳なく思っています。それ故参加者の方が楽しいひと時を過ごせるように、園児から大人までがなにかの演技をしています。今年ほどだえていた牧石音頭を探し出し、振り付けをしてもらい、みんなで踊りましたら拍手も出て盛り上がりました。山高く水清き郷、牧石にきてみられ、まっちゃんよ。よ。

春に行っているものに『牧石ふれあいまつり』があります。ゴールデンウィーク前の日曜日に牧石小学校校庭及び体育館を使用しています。これには地域で活動している各種団体がそれぞれのブースを設けて学区民に活動の様子を見ていただき、また体験していただいています。コミュニティハウス等で講座を受講されている方の作品、練習成果やパネル展示等の発表があります。また地域でとれた野菜や花の苗等も持ちよって販売されます。春の行事として地域の友達にも楽しんでいただいているものと思っております。

わが学区の地域力を想う

竜之口学区連合町内会 会長 村田 智美

昭和三十六年に、財田小と高島小の一部を分離して開校した竜之口小学校は、児童数五五二名である。校区は、東岡山駅・新幹線以北で、南北三km、東西一・三km、竜之口山を北に沖積平野の中央に、校舎とコミュニティハウスがある。

人口は、ここ五年間に五千人強から七千六百人に増加した。

二〇〇八年の学区十大ニュースをつくらしたら、新規に立ち上げたパソコン同好会、つくって食べて語ろう会（社会福祉協議会）、星を眺る会（頭高山愛護委員会）、ボランティア先生など何番目に入れるかで議論が分かれた。

昨年四月着任した校長が、『プラザさいでんだより』に『地域力に感謝』という題で、六月から始めた放課後学習教室を描いた。この記事から、私にも問い合わせがきて、学区の子育て支援を如何に続けるか、真剣に考えねばならなくなりました。

地域の資源（自然環境と歴史と人材）を掘り起こし、学校・園の運営に支障をきたさない範囲で、学童・園児の親たちと充分話し合う必要が生じてきた。

とくに竜之口児童クラブが百人を超えたことで、三年生以下の保護者役員と四年・五年生有志の父兄とホッペで話し合う必要がある。

教育行政の窓口等に援助をお願いする前に、地域力を検証し、地域が団結出来る方策を勉強しなければならぬ。そして障害者・ひとり暮らしのお年寄りを含む、老若男女が住んで良かったと思える学区でありたいと願う。



放課後宿題教室は盛況

皆で作ろうライフライン

芥子山学区連合町内会 会長 根川 恒



川福克己氏による講演会

私達の住む芥子山学区は西大寺地区の西部に位置し西大寺小、可知小より分離して新しい学校が出来て三十周年になります。当初は二つの連合町内会が発足しましたが、合併して一つの団体として活動を始めて五年が経つ、まだ新しい連合町内会です。したがって安全・安心ネットワークの立ち上げも昨年やっと出来たばかりです。町内会が四十二も有り、なかなかまとまりも難しく意見も様々です。

今年一月十七日に第一回の活動として地区の参加各種団体の方々を招き、講師に川福克己氏をお呼びして『皆で作ろうライフライン』と云う演題で講演をしていただきました。川福さんは阪神大震災の時、一番被害の激しかった神戸市長田学区の防災福祉コミュニティ本部長をしておられ、また長田ふれあいのまちづくり協議会委員長として震災後も尽力された方です。

学区の人々が非常時に直面した時、共に生き抜く為のご近所の絆（ご近所の底力）をどの様に立ち上げて活性化してきたか、そして長田小学校で約一、〇〇〇人が仮設住宅等に移るまでの数ヶ月、個人のエゴを捨て助け合い、支えあい、励ましあう共同生活を無事故で生き抜いたことを紹介されました。それをふまえて我が芥子山学区でも早々に防災組織を立ち上げ、災害時の避難場所を小学校に依頼し、災害時の混乱を避けるため、一階には乳幼児と体の不自由なお年寄り、二階以上は教室ごとに〇〇町内会と定めておいた方がよいとの意見も出、有意義な研修会でした。

まだまだ始まったばかりの会ですが、地区に有る各種団体の協力を得て益々発展させて行くつもりです。

心安らく  
上質の空間。

客室320室  
ミーティングルーム10室  
P200台  
宿泊者無料

岡山シティホテル厚生町

〒700-0985 岡山市厚生町3丁目1-20(商工会議所隣)  
TEL.086-236-1000 FAX.086-236-3331

運べる二つの岡山シティホテル

岡山シティホテル桑田町

JAでのお越しに便利、岡山駅から徒歩7分。

岡山商工会議所

専務理事	副会長	副会長	副会長	副会長	会頭
窪津	松田	古市	若林	木谷	岡崎
		大藏	昭吾	忠義	彬
誠	久				

救急病院 医療法人社団 労災指定  
(財)日本医療機能評価機構認定病院

光生病院

理事長 佐能量雄 院長 仁科恭一郎

TEL(086) 222-6806 (代)

内科・呼吸器科・消化器科・循環器科・神経内科・泌尿器科・外科・整形外科  
脳神経外科・心臓血管外科・形成外科・放射線科・リハビリテーション科

診療時間 平日 午前9時～12時 午後1時～5時 土曜日 午前9時～12時  
休診日 土曜午後・日曜・祝日 (但し急患はこの限りではありません)

## 安全な地域づくり = 防災訓練 =

桃丘学区連合町内会 会長 佐藤 純治

桃丘学区安全・安心推進協議会主催による防災訓練が、岡山市北消防署、消防航空隊、消防団馬屋下分団、平津分団の指導協力によって、昨年十一月二日桃丘小学校校庭で行われた。

「午前九時二十分、県南部で震度五強の地震を観測し、災害が発生した」という想定で訓練が始まった。

当日の参加者を避難者として町内別に避難状況を把握し、五百十五名の参加を先ず確認した。

やがて、消防ヘリコプター「ももたろう」が被害状況確認のために上空旋回を開始した。続いて、サイレンを響かせながら各種消防車が集結し、その前方へ、轟音も凄まじくヘリコプターが着地した。

この臨場感溢れる情景に、校庭周辺に待機していた参加

者は、固唾を飲み、真剣な緊張した表情に変わっていった。開会行事終了後、グループ別に体験訓練や見学を開始した。

起震車乗車体験・テント内煙中体験・ホース延長訓練・消火器取り扱い方法・心肺蘇生法等の体験訓練、更にクレーン車救助活動・ヘリコプター・各種消防車の見学と予定時間を超えて進められた。

最後に、婦人会と交通安全母の会が担当した「炊き出し」による「ぜんざい」が参加者に振る舞われ、感動した、興奮したという参加者の表情が和らいでいった。

地域防災の要である消防関係の方々からの熱心な御指導により、防災への意識を一層高めることのできた「防災訓練」であった。



桃丘小学校での防災訓練

## KOJO お米フェスティバル2008

曾根学区連合町内会  
興除地区地域振興事業推進協議会 会長 猶原 憲作

興除地区は東畦、興除、曾根の三学区からなり、東は笹ヶ瀬川から西は倉敷川まで東西に長い地区で、一八二三年（文政六年）に干拓が竣工し、以来米作りに苦勞してきた歴史があります。一八五年の歳月が過ぎ、今では宅地化が進み、昔のおもかげを残す地域も少なくなってきました。先人たちの米作りの歴史を、みんなに少しでも理解して欲しいということで、米の収穫も終わった十一月の中旬にKOJOお米フェスティバルを行ってききました。

今年で十五回を迎え、十一月十六日（日曜日）に実施しました。生憎前日は雨で会場を興除小学校グラウンドから興除中学校体育館に移し行いました。少し狭かったですが、消防団のラッパの合図で開会し、俵山車を消防団が担ぎ、子ども会の小学生が綱を引き体育館内を練り歩き、フェスティバル2008がスタートしました。中学生の吹奏楽の演奏、婦人会などの興除小唄の踊り、子どもクラブ対抗の綱引き大会などあり、応援する人も熱気を帯びた声援が続きました。そして、恒例のお米チャン



消防団に担がれ俵山車が登場

お米チャンピオンコンテスト

ピオンコンテストが行われました。ちびっ子、中学生、レディースの部と進み、最後に十七センチ四方の一升枧の上で六十kgの米俵を持ち上げるミスターの部に入り、二十五名の力自慢が競い合いました。会場からも応援が飛び交いにぎやかに進み、三名の者が見事持ち上げ、みんなから拍手喝さいを受けました。そして、各種団体が参加した外のテントの屋台では興除名物の「ふなめし」や姉妹縁組をしている新見市から「いのししカレー」も参加して賑わいを見せました。また、今年も昔をしのんで案山子コンテストも行われ二十一団体が登場しました。最後には七福神による餅投げが行われました。興除で作った餅米七俵半で各町内が餅をつき、紅白二個の餅を入れた袋をステージから投げました。会場一杯の地域内外から集まってきた大勢の参加者がさきを争って福を取り合いました。

にぎやかだったKOJOお米フェスティバル2008も無事盛会裡に終わり、このイベントを通して、地域の繋がりがより強くなったように感じました。

## 共助の気持ちで 地域づくり

南輝学区連合町内会 会長 大星 文夫



ウォークラリー出発前の準備体操

南輝学区は昭和三十年頃に児島湾干拓によって出来た市南部に位置する約四、一〇〇世帯の閑静な住宅地で、昭和四十八年から福島学区から分離独立した学区です。昭和四十八年頃から開発が進み大型商業施設も出来、学区内にゴルフ場や阿部池には野鳥が生息する恵まれた地域です。しかし近年少子高齢化、核家族化が急速に進み、六十五才以上が二十五%を超える学区になりました。

大きな災害が発生した場合を想定し、一昨年南輝学区安全安心ネットワークを組織し九町、十五団体が連携し取組み強化を行っております。連町や体協が中心になり、ウォークラリー、大運動会、グラウンドゴルフ、バレーボール、ソフトボール、ゴルフ等スポーツ大会を行い、一、まず顔見知りになること。二、誰とでも話が出来

ようにすること。その中で何事も共助の気持ちを忘れずに行動する事をモットーに、初歩的なことから始めております。その結果どの大会も参加者が多く成果が現れております。また当学区は昔から小さな町内も単独で納涼盆踊り大会を実施し、他の町内が応援する型が定着し、盛会に行われており連携も充分です。

環境面も五〇〇米におよぶ成長したケヤキ通りや櫻並木で季節によっては楽園になります。また最近地域企業のDOWAグループが中心になり、児島湖花回廊プロジェクトが三、〇〇本の河津櫻の植樹を推進中で、学区内住民も多数参加しており数年後が楽しみです。何事も支え合う気持ちがあれば若者も増えると信じ取組んでおります。

自宅葬・会館葬、家族葬・社葬・団体葬まで、法事、法要も承ります。  
ご予算に応じて ご希望のご葬儀を承ります

いつでもお気軽にお立ち下さい。  
事前相談も承っております。

24時間受付中 0120-666-183

山陽典礼会館  
岡山南典礼会館  
岡山東典礼会館

包装用ポリエチレン・PPフィルム製造  
グラビア印刷・加工・販売

三宅グラビア印刷株式会社

- 本社/岡山市曾根985の2番地
- 工場/岡山市曾根84番地の2
- 工場/岡山市曾根310番地の3

TEL (086) 298-2621(代) FAX (086) 298-3658

笑顔とふれあいので満ちた介護

社会福祉法人 鷺山会  
介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)  
岡山シルバーセンター

〒701-1345 岡山県岡山市新庄上545-1  
☎086-287-5111 ☎086-287-5005  
URL: http://www.silver21.or.jp/

岡山空港ゴルフコース

Evolution

〒701-1141 岡山県岡山市菅野3397-99  
予約: 086-994-4477  
FAX: 086-994-5545

### はざかわ 迫川獅子舞

町づくり推進協議会 委員長 山形 和美

鳴物の大太鼓、小太鼓、鉦、笛の音に合わせて、青の手甲、脚絆、赤の着物が目にしみる衣装を身に纏った経口の児童の踊りに操られながら、五穀豊穡・悪魔払い・無病息災を願って舞う雌雄二頭の獅子たち。経口は、踊りや所作等によって自由自在に獅子を操り踊らせる所謂獅子遣いであり、一行の中でも特に目立つように衣装がカラフルで、可愛らしさ、元気深刺さがみものである。

毎年、十月に行われる御崎神社（氏神）の秋季大祭には、獅子舞奉納がならわしである。「町づくり運動」の一環として、郷土の民俗芸能発展のため、老若男女一体となって盛大に行ってきた。

その主役が灘崎小学校迫川分校三年生を中心とした経口の児童達四人と小・中学生までの男女。打ち鳴らす太鼓や鉦や笛の音に合わせて、地区内を隈なく練り歩き、所要所で舞い、踊る獅子たち。

土・日を中心にして練習に約三週間、最終の一週間は毎日汗を流す。それを通して子どもたちは、親睦を図り、長幼の序、助け合い、



迫川住民の安穩を祈願して舞う獅子  
＜2日間地区内を練り歩く＞

体で実感する優しさや思いやり等を学びながら大きく、たくましく成長していく。

地区の行事に積極的に参加し、三世代相互の交流、育成会の団結、学校・地域の連帯感等々、子どもたちの心身の健全な成長の場として、この伝統芸能を受け継いで、頑張ってくれ子どもたちを心強く思うと同時に、温かく見守っていききたいものである。

### 「御津」という住所表示へのこだわり

御津地域区長会 会長 中原 寿

人に名前があるように、住所にも名前があると思います。私の住所は岡山市御津紙工で、姓は御津、名が紙工（しとり）です。昭和二十八年、七ヶ町村が合併し御津町が誕生、その後、五十数年の間「御津」の姓を名乗り、姓だけでどのあたりの場所だかイメージしていただけるものと思います。

さて、岡山市との合併にあたり住所表示を「御津」にするか、それとも「御津町」にするか旧町議会で真剣に協議され、合併後に旧自治体名である御津町が存在することはふさわしくないと判断、町をとり御津の表示になった経緯があります。そして、現在の住所表示にもようやく慣れた感の中で、昨年八月に突然、御津合併特例区が終了する平成二十二年三月には自動的に住所表示から御津の地名がなくなる、地名存続を望むなら御津地域の有権者の半数以上の署名が必要であるという問題が浮上しました。区長会役員会では「合併して現在の住所に

変わり、やっと落ち着いた時期に何を言えんなら。姓がなくなり名だけになると、何処なんかわからんようになる。御津を残すためには署名活動もやむを得ない。」との意見が出ました。その後、御津合併特例区協議会は御津存続の方針と署名活動を決定し、区長会に署名活動の協力要請がありました。そこで、区長会臨時総会に諮り意見を聴取、その中で個人的意見、民意を問うものとする意見など、賛否両論ありましたが、十月末から各地区において署名活動が始まりました。その結果、有権者の六割にあたる署名が集まり、昨年末、市に住所表示「御津」存続の要望書が提出されました。

御津地域住民の多くの方々は、御津の地名に愛着を持ち、御津を守り伝えていく意志を明確に表示された結果になりました。最後に、この記事が岡山市連合町内会会報に掲載される頃には存続の手続きが終了し、御津は永続されていると思います。

### 安全・安心のまちづくり

瀬戸町区長会 副会長 赤井 史人

瀬戸町は、合併特例区の関係で、小学校単位の活動ではなく町内二十五区が一体となって活動し区長が行政と住民とのパイプ役となっている。

特に平成十九年六月に町内各種団体で「瀬戸地域安全・安心まちづくり」協議会を発足させた。協議会は、五つの専門部会（子ども見守り部会、学校安全部会、ひとり暮らし老人・障害者等見守り部会、環境美化部会、防災部会）を設置し、それぞれの区で区長を中心に活動している。町内には、二小学校、一中学校があり特に子ども見守り部会は、毎日児童の登下校にそろうユニフォームで各区の住民が交差点などで見守りを行い安全・安心のまちづくりに取り組んでいる。また千種小学校の児童は、県下でも数少ない児童見守りシステム（ICタグサービス）の適用を受け、ランドセルにICタグを着けて登下校している。ICタグを着けていることにより登下校中の児童の居場所が保護者に判るシステムであり安全・安心のために大変役立っている。さらにケーブルテレビを活用し見



児童見守りシステムオープニングセレモニー  
市長(右端)が校門で児童へ挨拶

守り情報の収集も行っている。

行政との連絡も区長が窓口となっており、区内での諸問題も区長を中心として活動し地域の方からは喜ばれている。今後も地道に活動を続けることが大切であり、また今までの古い文化を活かしながら瀬戸町がなお一層活性化するようにがんばっていかねばならないと思っている。

### 自然エネルギーの活用めざす地域活動

建部町区長協議会 会長 池口 視善

温暖化対策として「備前みどりのまほろば協議会」が設置を進めている太陽光発電設備は、旧町時代から環境まちづくりに取り組んできた建部町の竹枝小学校を含め五ヶ所が指定を受け設置工事が完了しました。竹枝小学校では、校舎南東側の屋根に約二百平方メートルの太陽光パネルを取り付け、晴天時は最大十九キロワットの発電容量があり、同校の年間使用電力の約八割をカバーできるとの事です。

これらの事業を通じ、また自然エネルギーの資源が多い当町ではこれらを有効に賢く使うためと同時に、地域の皆様方のご理解を得るために、市当局、地元の組織が一体となって本年度講師の方を招聘し、自然エネルギー講座（地球温暖化防止・太陽光発電・小水力発電）をテーマに三回に分け開催致しました。

これら一連の地域活動から、自然エネルギー活用の必要性が醸成される中、私たち区長協議会として見聞を広めるため、昨年七月末に「まちづくり」や「地域おこし」のメッカとして知られる高知県梛原町を訪れました。愛媛県に接する県境と云う不便な立地条件を、



竹枝小学校のソーラーパネル

逆にプラスへと転換する独自の施策。特に標高約千メートルの高原に風車が林立し「風力発電所」の施設や制度が生れ活用されています。風車による発電電力の売電益は、環境基金として自治体が管理するシステムになっています。建部町は緑多い山間部と清流旭川に沿った平坦部から成り、先進地から学んだ幾多の事例を参考に、地域活動を進めたいと思っています。

## 男女共同参画専門部会設立

男女共同参画専門部会長 大和田 黎子

岡山市では平成十三年六月に「さんかく条例」(岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例)を制定して五年間、市民と協働で男女共同参画社会の形成を推進しましたが、平成十七年度に実施した市民意識・実態調査では、家庭での役割は女性の負担が大きいなど、男女共同参画が十分浸透しているとは言い難い状況が浮き彫りになり、平成十九年～二十三年の五年間に更なる取り組みの「新さんかくプラン」を策定し、推進しています。

町内会長・自治会長は男女共同参画が形成されていない分野の一つであります。

私が二十年前に御野学区の町内会長になった当時、女性町内会長は珍しいと言われましたが、現在では旧岡山市全体で一五〇〇余町内会中、五十余名の女性町内会長がいますので、かなり増えてきています。約三分に過ぎず、他の分野に比べてまだ女性の比率が低いということです。

各学区・地区連合町内会長の女性比率は更に低く、平成十七年度に私が御野学区連合町内会長になるまで、長年、女性はゼロだったので、私の出現が男女共同参画の推進の突破口になると兼松会長をはじめとする連合町内会長の皆様の期待を受けていることは十分察知出来ると思います。

兼松会長は十七年度中に、女性町内会長と連合町内会幹部との懇談会を開催して、女性町内会長の意見を聞いて下さいました。

懇談会によって、各女性町内会長はそれぞれに女性という社会的ハンデの壁を乗り越え、更に女性の特性を活かして、町内のために粉骨砕身頑張っている様子が良く分かり、私はこれまで男性の中で孤軍奮闘している感じでしたが、多くの女性の仲間がいることが確認出来て大変嬉しく思いました。

懇談会に留まらず、平成二十年二月に男女共同参画専門部会準備会を開催し、同年六月、総会において、男女共同参画専門部の設置および二十年度事業計画が承認され、同年八月に第一回男女共同参画専門部会を開催し、会則の承認、部会委員選任並びに正副部会長の選出が行われ、委員には男女共同参画社会にふさわしく、男女五名ずつ、十名が選任され、私は部会長に選出されました。

同年九月に第二回男女共同参画専門部会を開催し、今年度の活動方針を集約しました。

はなはだ微力な私ですが、経験豊かな連合町内会長の皆様のご指導ご鞭撻を賜りながら、まい進致しますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



女性町内会長等意見交換会

## 平成20年度中四国自治会連絡協議会

中四国自治会連絡協議会 会長 谷口 陽三

平成二十一年二月十二日、平成二十年度中四国自治会連絡協議会が愛媛県新居浜市において開催され、中四国七県、二市の自治連合会組織から三十七名の皆様が出席されました。

今回の会場となりました愛媛県新居浜市は、愛媛県自治会連合会の事務局ですが、全国自治会連合会には未加入のため、今回はオブザーバーでの参加となりました。新居浜市の自治会活動については、開催をご快諾いただいたうえ、意見交換の場では新居浜市の自治会活動について、積極的なご発言をいただきました。これも、兼松会長の地道な加入促進活動の積み重ねの成果が現れたものと思っております。

さて、今回の協議会では、特に、地域コミュニティ組織に関するものについて、様々な取り組みの事例等の発言が相次ぎ、白熱した意見交換となりました。

現在、全国各地で地域コミュニティの活動が注目されており、今後、自治会を中心とした地域コミュニティと行政が、協働して地域の課題に取り組むことがますます重要になると思われます。

私たち自治会関係者は、中四国のような大きな枠組みの中で、積極的な議論を交わし、相互の信頼関係を構築することにより、今後、さらにより広い視野で自治会活動を行っていくことができるものと確信しております。



平成20年度中四国自治会連絡協議会(愛媛県新居浜市)

## 第4町内の活動

県営住宅東岡山団地第4町内会 前会長 森 里美

県営住宅東岡山団地第4町内会は、岡山市内より東へ旧国道二号線沿いに位置するこの団地の中でも一番世帯数(四〇六世帯)の多い町内会です。近年には生活環境も一段と便利になり住み良い団地になってきています。しかし、第四町内会も子どもの数が減り高齢化が進んでおります。私も、この町内にお世話になって三年、しかし、まだまだ町内の事は把握していません。

町内会では毎月第三日曜日の朝、約一時間清掃活動をおこなっています。この機会が日頃顔を合わす事のない人にもコミュニケーションが出来る最大場だと思えます。又、町内のほぼ中央には子どもからお年寄りまで集える公園があり、太陽の下子ども達の楽しそうな姿を見守ることが出来ます。この公園も町内で毎週清掃活動を行っています。そしてこの公園の隣には二階建の集会所があります。この集会所の一階は去年クーラーを設置、又トイレは和式から、お年寄りにも楽に使用出来るよう、簡易の洋式トイレに変えました。二階は和室と洋室があります。この集会所は総会はもとより、日本語教室、又町内の方によるヨガ教室、団地のお年寄りの方々の為の体操教室等、有意義に使用されています。

第四町内会は、お年寄りの方、又、一人暮らしの方が非常に多い町内です。だからこそ町内の方による活動が、一人でも多くの方々に広がり、楽しいひとときを過ごして頂ければと思います。町内の公園、集会所が皆様の憩いの場になる事を願っております。

ホール葬・ご自宅葬

**さくら祭典**

24時間年中無休

あかいわ 086 956-1177

上道 0120 16-7788

岡山駅前 0120 23-6888

きびつ 086 284-4500

せとうち 0869 24-2300

株式会社 ニシテック

〒703-8216 岡山市栄4-2-1 TEL(086)279-7253 FAX(086)278-3136

業務内容

- 中間処理業(破碎・圧縮・焼却)
- 2施設有り(古都宿・草ヶ部) 持込可
- リサイクルセンター(草ヶ部)
- 産業廃棄物収集運搬業
- 特別管理産業廃棄物収集運搬業
- 一般廃棄物収集運搬業

内閣総理大臣賞受賞

岡山県産 **あひ田楽**

金萬堂本舗

本社工場 岡山市幸川市場642の1 TEL.086(284)2883(代)

直営店 岡山駅二階さんずて岡山店 TEL.086(226)2053

直営店 岡山ステーションセンター一階 TEL.086(232)0816

岡山市中心部より一番近いゴルフコース

OCC 岡山カントリークラブ

岡山市田益483-1

TEL:086-294-3111

FAX:086-294-3131

「全国自治会連合会札幌大会」北の大地で開催される

岡山市連合町内会 常任理事 黒住 小弥太



あいさつをする兼松会長

北の大地において平成二十年度全国自治会連合会札幌大会が開催され、全国各地より多くの自治会、連合町内会同志の方々、八百十三名が参集され盛大に熱き気運に盛り上がった大会が開催されました。

岡山市連合町内会の動き

平成二十年九月以降

- 理事会
●第三回視察研修について他
●第四回今後の組織体系について他
●第五回定年制の導入に伴う規約施行細則の一部改正について他
●常任理事会
●第三回視察研修について他
●第四回市政懇談会について他
●第五回今後の組織体系について他
●第六回定年制の導入に伴う規約施行細則の一部改正について他
●専門委員会
●ICT推進専門委員会
●岡山市幹部職員と常任理事会構成員等との懇談会
●岡山市幹部職員から、各局室の重点項目等の報告があり、市政について活発な意見交換、質疑等を行いました。
●視察研修
●平成二十年十一月十日～十一日
●会等四十七名が、先行の政令指定都市の住民自治組織である静岡市自治会連合会、浜松市自治会連合会を訪問し、組織のあり方や活動状況等について研修をしました。
●視察研修の受け入れ
●米子市自治会連合会から十七名が来岡され、町内会の課題等について、活発な意見交換を行いました。
●堺市美原区自治会連合協議会から八名が来岡され、自治会への加入促進

岡山県自治会連合会の動き

平成二十年九月以降

- 平成二十一年一月二十八日
●新春互礼会及び市政報告会
●平成二十一年一月九日
●メルパルクOKAYAMAにおいて、高谷市長、村手副市長、佐古副市長、宮武市議会議長、磯野副議長等と会員七十一名が出席し、兼松会長のあいさつの後、受賞報告、市政報告等が行われ、その後懇談を行いました。
●岡山市町内会長等懇談会
●平成二十一年二月二十二日
●市長と常任理事会構成員等との懇談会
●平成二十一年二月二十四日
●受賞(章)報告
●全国自治会連合会会長表彰
●平成二十年十月二日
●黒住 小弥太氏
●中山学区連合町内会長
●西谷 萬二氏
●甲浦学区連合町内会長
●秋山 卓一氏
●庄内学区連合町内会長
●瑞宝単光章(警察功労)
●平成二十年十一月三日
●藤原 浩氏
●高島学区連合町内会長
●藍綬褒章(防犯功労)
●平成二十年十一月三日
●原田 潤作氏
●(妹尾学区連合町内会長)
●岡山市有功表彰
●平成二十年十一月三日
●赤木 實男氏
●(深根地区連合町内会長)
●岸本 戴男氏
●(三門学区連合町内会長)
●小野 浩一氏
●(内山下地区連合町内会長)
●自治会等地域による団体功労者総務大臣表彰
●平成二十年十一月二十八日
●森本 享氏
●(西大寺学区連合町内会長)
●永年勤続町内会長市長表彰
●平成二十年十二月一日
●十五年以上勤続学区・地区連合町内会長：一名(表彰状)
●立川 恭司氏
●(可知学区連合町内会長)
●二十年以上勤続単位町内会長：八名(表彰状)
●退任(五年以上勤続)単位町内会長：四十四名(感謝状)

平成二十年度全国自治会連合会道

町連創立三十周年記念札幌大会への参加

- 平成二十年九月以降
●札幌市の京王プラザホテル札幌において開催され、全国の三十道府県から約八百名が参加し、表彰式、講演会、情報交換等を行い、実り多い大会となりました。岡山県自治会連合会からは十二名が参加しました。
●(社)岡山県婦人協議会との懇談会
●平成二十一年一月十五日
●(中四国自治会連絡協議会)
●平成二十一年二月十二日
●加入促進活動
●片山副会長が、組織拡大のため、次のおり訪問し、加入促進活動を行いました。
●二月 備前市自治会連絡協議会 和気町区長協議会
●受賞報告
●全国自治会連合会会長表彰
●平成二十年十月二日
●受賞者 五名
●自治会等地域による団体功労者総務大臣表彰
●平成二十年十一月二十八日
●受賞者 二名

全国自治会連合会の動き

平成二十年九月以降

- 加入促進活動
●兼松会長が、組織拡大のため、次のおり訪問し、加入促進活動を行いました。
●九月
●新居浜市連合自治会(愛媛県)
●今治市連合自治会(愛媛県)
●十月
●直方市自治会連合会(福岡県)
●中間市町内会連合会(福岡県)
●十一月
●松江市町内会自治会連合会(島根県)
●青森市町会連合会(青森県)
●上山市地区会長会(山形県)
●二月
●うるま市自治会長連絡協議会(沖縄県)
●那覇市自治会長会連合会(沖縄県)
●宜野湾市自治会長会(沖縄県)
●南城市区長会(沖縄県)
●長崎市保健環境自治連合会(長崎県)

ASUKA GROUP 医療法人 アスカ会 Every body wants health / ASUKA FOUNDED 1981
アスカ国際クリニック
介護老人保健施設 すこやか苑
グループホーム
矢坂本陣・矢坂本陣II・平津
アスカ訪問看護ステーション
いちのみや
アスカ居宅介護支援事業所
いちのみや在宅介護支援センター
ケアハウス茶山亭
小規模特別養護老人ホーム
こちょう庵
小規模多機能型居宅介護事業所
ゆめ童
ヘルパーステーションいちのみや
ヘルパーステーション吉備の里

あくなき「創新」... 人と社会のために、もっと、化学でできること。
kuraray
http://www.kuraray.co.jp/
株式会社クラレ 岡山事業所 〒702-8601 岡山市海岸通1-2-1 TEL.086-262-0111(代表)

- 平成二十一年二月十日
●全国自治会連合会近畿ブロック会議(橿原市)
●倉田雅年総務副大臣
●平成二十一年一月二十二日
●河野洋平衆議院議長
●江田五月参議院議長
●平成二十一年一月二十三日
●全国自治会連合会近畿ブロック会議(橿原市)

「関ヶ原合戦後の秀家」

慶長五年（一六〇〇）天下分け目の関ヶ原の合戦で石田三成の催した西軍の副大将として天満山に陣を敷き、一万五千の兵を率いて奮戦したが、敗れて伊吹山中に逃れ、島津氏を頼って薩摩に落ち延びた。慶長八年（一六〇三）幕府へ出頭、駿河久能山に幽閉された後、慶長十一年（一六〇六）子秀高、秀継とともに八丈島に流罪となり、明暦元年（一六五五）八十三才で没した。この間、秀家は妻豪姫の実家である加賀前田家や旧臣花房正成の援助があり、その後も明治維新まで代々支援が続いた。

秀家のために明け渡し、下屋敷に移り、以来上屋敷と呼ばず「宇喜多屋敷」と呼び周辺には家臣の宅地も造成され、さらに下った場所には郷士の警護所が設けられ平野家一族挙げて徹底した防衛態勢を敷いて秀家を守った。○平野家第三十五代彦太郎郎

（口伝抜粋）

（彦太郎氏略歴・鹿児島師範学校卒業、校長在職三十二年、昭和二十二年、二十六年牛根村公選初代、二代村長、昭和三十五年没 七十三才）

「薩摩編外伝」

秀家が、潜匿の地として来薩し、島津家では大隈郡牛根郷の豪族、平野家を迎えた。平野家では一族を挙げて最大級の接遇をもって敗軍の将である秀家を匿った理由として次のような背景が考えられる。

島津と再起を謀るべく密かに大坂を脱し慶長六年（一六〇二）水無月、海路薩摩の山川港に到着し島津義弘公に意を告げると、義弘公は家臣に命じて対岸にある大隈郡牛根郷に秀家を迎え、郷士平野党の本拠地に、名を休福と改め潜居させた。

当時の日本国にあつて敗残の身を養うに、薩摩以外に考えようが無かつたと推察できる。

平野家の祖先是、平氏である。文治元年三月（一一八五）源氏との壇之浦の合戦に敗れ平氏滅亡。平氏の落人として海路西下、牛根の地に潜居士着、現在地に広大な土地を領有した。

該地は、背後に（南東）山林が迫り、眼前に錦江湾という環境であつたが、現在でも平野家周辺には、平野川、平野橋、平野原等々の呼称があり広大な山林を領有し、平野家氏神も祀られており当時の権勢が推察できる。

平野家では、本宅であつた上屋敷を

徳川に出頭すべく伏見へ出発した。慶長八年（一六〇三）葉月、秀家三十一才二年三カ月にわたる薩摩牛根郷、平野家での潜居は終わる。

その後、明治維新の大赦まで宇喜多秀家とその一族は、表舞台から封じ込められた。

「うたたねの夢も牛根の里にさえ宮こわすれの菊はさきけり」

詠み人 宇喜多秀家

潜居地牛根にて

「薩摩編外伝」

秀家が、潜匿の地として来薩し、島津家では大隈郡牛根郷の豪族、平野家を迎えた。平野家では一族を挙げて最大級の接遇をもって敗軍の将である秀家を匿った理由として次のような背景が考えられる。

①文治元年（一一八五）平野家の祖先も、平氏の滅亡により敗走、牛根郷に潜居した経緯があり秀家の心情を察したことであろう。

平野一族は、源氏に追われ、秀家は、徳川に追われることがオーバードラッグしたことが推察できる。

②平野家の祖先是、地理的にも活動の場が海に限られ非合法な手段（掠奪、物資の横流し等）により生活の糧を求め、膨大な財を貯えていたものと推察できる。

これらの行為があつたとすれば時代背景を考慮して評価しなければならぬ。

③平野家の面々は、義侠の人であり秀家と肝胆相照らす仲であつたと思われる。その一例として伏見に護送される際、平野家は、秀家の引渡しを強硬に拒んだといわれる。

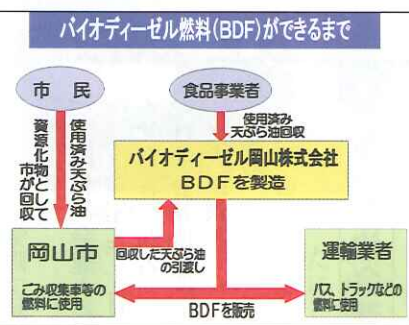


宇喜多秀家公潜居之地の碑

天ぷら油でゴミ収集車が走る!?

岡山市連合町内会 常任理事 池田 太郎

岡山市では四月から、従来の資源物に加えて天ぷら油の回収が始まる。BDFへの取り組みは既に各地で始まっている。常任理事会構成員等では、昨年七月に鹿児島県霧島市へBDFの視察を行った。霧島市では、町内会が市と連携して天ぷら油を集め、市はBDF化して利用していた。天ぷら油の回収事業は、資源循環型社会の構築の契機になるものであり、他の資源リサイクルの促進にも役立つと思われる。町内会も積極的に取り組む必要があると認識を持ったところである。



国内外ではバイオエタノール（主にガソリンに混合して使用）を製造するためにトウモロコシなどの穀物の価格が高騰し、食糧難が生じるなどの難が生じるなどのバイオ燃料製造による弊害が生じているが、BDFは要らなくなった天ぷら油を原料とする（リサイクル）のでこの心配はない。BDFへの取り組みは既に各地で始まっている。常任理事会構成員等では、昨年七月に鹿児島県霧島市へBDFの視察を行った。霧島市では、町内会が市と連携して天ぷら油を集め、市はBDF化して利用していた。天ぷら油の回収事業は、資源循環型社会の構築の契機になるものであり、他の資源リサイクルの促進にも役立つと思われる。町内会も積極的に取り組む必要があると認識を持ったところである。

編集後記

政令指定都市岡山市が四月一日にスタートしますが、丁度その頃に会報十三号配布となりますので、政令市記念号とも言える会報に、特集的に次の様な記事を載せることにしました。

- 一 政令指定都市関連
- 二 全国都市緑化おかもやフェア関連
- 三 町内会長等懇談会関連
- 四 男女共同参画関連
- 五 岡山の開祖宇喜多氏関連（継続）

今年度は史上まれに見る大不況に全世界が襲われている中で、過分のご協賛をいただきました各社および広告募集に大変なご協力を賜りました方々に衷心よりお礼を申し上げます。

会報につきましては、サイズ・カラー・活字・広告等が今後の検討課題と考えられます。お気付きのことがございましたら、事務局までお知らせ頂き、今後の参考にさせていただきます。

考にさせて頂きたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

終わりになりますが、会報発行にご協力下さいました皆様にご心からお礼を申し上げます。この会報がより良い地域社会・町内会の構築発展の糧となりますよう祈念致しまして編集後記といたします。

- 【編集委員長】 片山 晋
- 【編集副委員長】 岡 恒夫
- 【編集委員】 池田 太郎
- 國富 雅之
- 黒住小弥太
- 吉田 勝則